

3. 個別の理由で採点を行った問題について

午前 問7

7 「健康づくりのための身体活動基準 2013」の内容に関する記述である。
最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 身体活動量の増加でリスクを低減できるものとして、認知症は含まれない。
- (2) 身体活動と運動を合わせて、生活活動と定義している。
- (3) 18～64歳においては、3メッツ以上の身体活動を毎日60分、週に10メッツ・時行うことが推奨されている。
- (4) 65歳以上においては、強度を問わず、身体活動を毎日100分以上行うことが推奨されている。
- (5) 身体活動を推進するための社会環境整備には、職場づくりについての視点は含まれない。

採点上の取扱い

全員を正解として採点する。

理由

正解となる選択肢がないため。